



岐阜県高山市における アニメ聖地巡礼の受け入れと内発的发展

11810001 青山希美乃

I はじめに～問題の所在～

日本の政策

2003年 「映画振興に関する懇談会」

- ・日本映画の創造活動を活性化
- ・フィルムコミッションの活動を支援

2005年 「映像等コンテンツの制作・活用による地域振興のあり方に関する調査」

- 国家戦略としてアニメを利用した地域の活性化を推奨

2012年 「コンテンツ産業の現状と今後の発展の方向性」

- 聖地へのインバウンド観光客増を目指す



コンテンツ（映画、アニメ等）をきっかけとした旅行行動が**地域活性化の手段**として認められている

I はじめに～問題の所在～

地域活性化とコンテンツツーリズム

山村 (2008)

『らき☆すた』を取り上げ、「聖地化のプロセス」「地域社会の旅行者受け入れプロセス」「地域外関連企業の役割」を整理し、**地元商工会が中核的な役割**を果たしていることを明らかにした。

片山 (2013)

ファンと地域の関係性の発展を3段階に分け分析する枠組みを発見し、『true tears』に動機づけられた**ファンの行動と特性を3つの発展段階**に当てはめた。

宮崎 (2016)

「ピーターラビット」の故郷である湖水地方の持続的な観光地づくりに着目しその成功要因を検討した。

I はじめに～問題の所在～

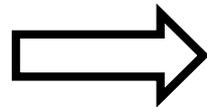
地域活性化と内発的发展

地域活性化 ↔ 内発的发展

内発的发展とは？

…1975年国連経済特別総会の報告『なにをなすべきか』のなかでスウェーデンのダグ・ハマーショルド財団が発表した、近代化における发展に対する「もう一つの发展」として表された概念

淀野 (2007)



社会学・国際関係学・民俗学
鶴見 (1989) など



地域経済学・財政学
保母 (1996) など

I はじめに～問題の所在～

保母(1996)の内発的发展論

内発的发展を進める上でのチェックポイント

①完成度の高いグランドデザイン

②リーダーの存在

③住民理解

④運営資金



筒井（1999）はこの2点に着目
→**地域振興の実態分析**を行った



内発的发展の有効性と課題を分析

I はじめに～問題の所在～

コンテンツツツーリズムの問題点

風呂本（2012）

コンテンツツツーリズムは経済効果に対する評価が中心であり、従来のロケ地同様一過性のブームに終わってしまう危険性がある。

金（2015）

きっかけとなる映画のブームが冷めるとともに観光誘致効果も一過性で終わることが多い。

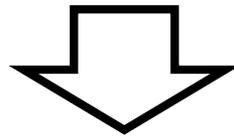
コンテンツツツーリズムの問題点
= 観光誘致効果の一過性

I はじめに～研究目的～

研究目的

研究題材 アニメ『**氷菓**』

高山市におけるアニメ聖地巡礼者の誘客とその効果を筒井（1999）の注目した**2つの内発的発展のチェックポイントから実態分析**を行う。



コンテンツツーリズムの課題である**観光誘致効果の一過性を克服するための要素**について考察を深める。

Ⅱ 調査対象概要

1. アニメ『氷菓』概要



氷菓 (2012年4月公開)

岐阜県高山市でロケが行われ、舞台となった高山市に聖地巡礼に訪れるファンが後を絶たない。

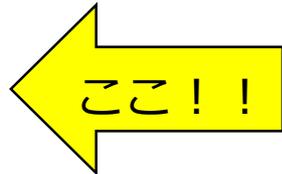
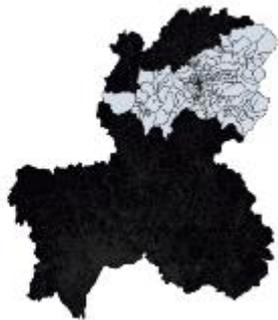
- ・ 氷菓の聖地巡礼による経済効果 **約21億**
- ・ 地元のまつり「生きびな祭」 **約500人→約2500人**

Ⅱ 調査対象概要

2.調査地域概要

岐阜県高山市

高山市の古い町並は、国が指定する伝統的建造物群保存地区であり、多数の観光客が押し寄せる。2005年に9つの町村と合併し、日本で一番大きい市となった。



Ⅱ 調査対象概要

3.調査手法と調査対象者概要

資料調査

- ・ 飛騨経済新聞
- ・ 高山市公式ホームページ
- ・ 高山『氷菓』応援委員会公式ホームページ
- ・ 神山高校文化祭実行委員会公式ホームページ etc.

インタビュー調査

- 9.29 高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課 S氏
- 11.14 高山『氷菓』応援委員会メンバー N氏
- 11.25 アニメ『氷菓』をきっかけとした移住者 U氏

Ⅲ アニメ聖地巡礼者の誘客と その効果

1. リーダーの存在

O氏・N氏…高山『氷菓』応援委員会

※地元商店街の『氷菓』ファンによって発足

- O氏**
- ・高山『氷菓』応援委員会の代表
 - ・アニメーション関係の職務経験があるためグッズなど担当
- N氏**
- ・神山高校文化祭実行委員会代表
 - ・ファンの窓口担当

主なイベント・活動

- ・生きびな祭コラボイベント 2013～2016年
- ・神山高校文化祭 2012・2013・2015・2018年
- ・JR東海の高山本線全線開通80周年記念コラボ企画 2014年
- ・「氷菓×飛騨高山」パネル展&クイズラリー開催 2016年
- ・氷菓と高山のコラボグッズの発売 例) ポストカード、氷菓米 etc.

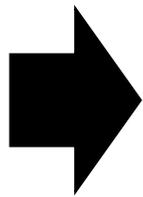
Ⅲ アニメ聖地巡礼者の誘客と その効果

1. リーダーの存在

行政

主なイベント・活動

- ・ 飛騨高山雛まつりスタンプラリーコラボ 2013年、2014年
- ・ アニメ聖地巡礼マップ作成
- ・ 氷菓ラッピングバスの運行 etc.



アニメ聖地巡礼者の誘客は高山『氷菓』応援委員会の
メンバーO氏とN氏がリーダーとなって進められて
いったといえる。

Ⅲ アニメ聖地巡礼者の誘客と その効果

2. 住民理解

アニメ公開当初

ファン第一

儲け第一

高山『氷菓』応援委員会



商店街の一部の人々

↑
考え方の齟齬

アニメ放送後しばらくすると...

商店街全体がファンのためを思った行動をとるように

▶ファンのため、商店街の景観を極力変えない

Ⅲ アニメ聖地巡礼者の誘客と 内発的発展

2. 住民理解

〇氏・N氏以外の地域リーダーの誕生

▶両面宿儺を題材にしたアニメ『呪術廻戦』のファンの誘客

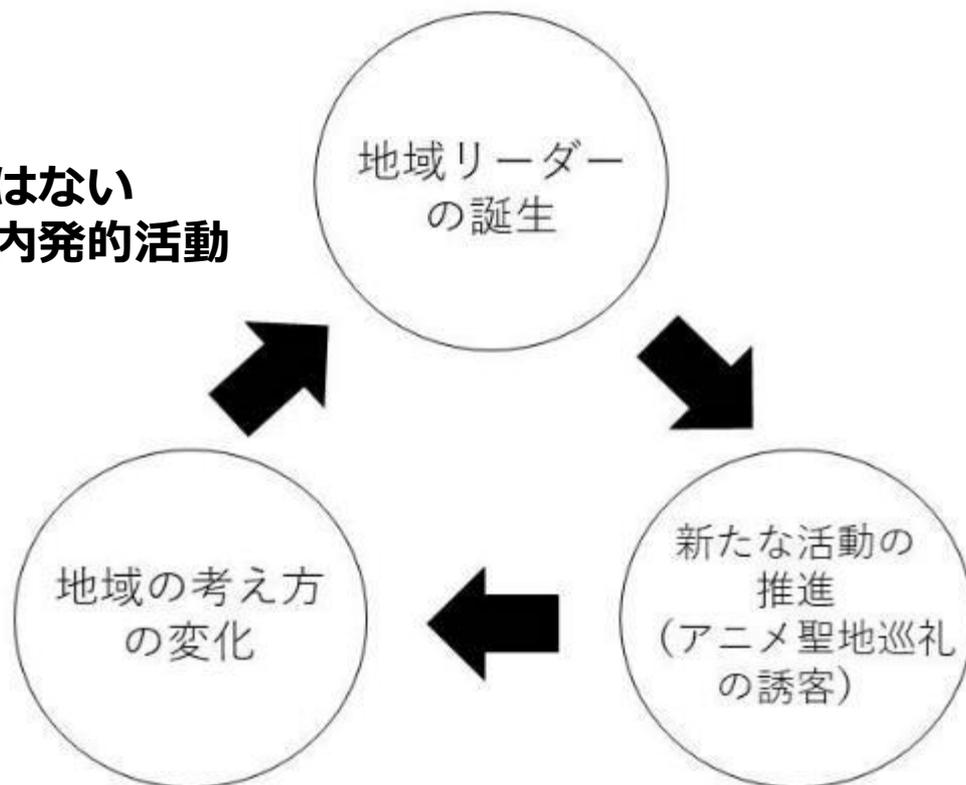


アニメ『氷菓』をきっかけに地域住民の保守的な面が薄くなり、
今まで取り入れてこなかった活動を受け入れる意識変革が起きた

IV 観光誘致効果の 一過性の克服

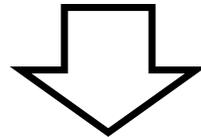
考察

一過性ではない
継続的な内発的活動

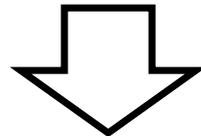


V おわりにに～まとめ～

資料調査・インタビュー調査より高山市における
アニメ聖地巡礼者の誘客の実態を把握



筒井（1999）の採用した2つの内発的発展論の
チェックポイントから高山市のアニメ聖地巡礼者の
誘客とその効果を分析



キーパーソンが行動を起こすことで町が積極性を増し、
その後新たな地域リーダーが生まれるという
正の循環 = 観光誘致効果の一過性を克服する要素である

参考文献

金玉実 2015. 映画『狙った恋の落とし方』による中国人の北海道東観光の展開. 地理学評論 88(5): 514-530.

片山明久 2013. アニメ聖地における巡礼者と地域の関係性に関する研究－富山県南砺市城端を事例として. 観光学評論 1(2): 203-226.

筒井一伸 1999. 中国地方の過疎山村における一地域振興の実態分析－内発的発展論におけるチェックポイントを用いて－. 人文地理51(1): 87-103.

鶴見和子・川田侃 1989. 『内発的発展論』東京大学出版.

風呂本武典 2012. 「内発的発展の思考によるコンテンツツーリズム」～広島県内の漫画アニメ地域振興事例の比較検討たまゆら－竹原・朝霧の巫女－三次～. 広島商船高等専門学校紀要 35: 55-68.

保母武彦 1996. 『内発的発展論と日本の農山村』岩波書店.

宮崎裕二 2016. コンテンツツーリズムにおけるキャラクターを活用した持続的な観光地づくり－「ピーターラビット」の故郷, 湖水地方の事例研究－. コンテンツツーリズム学会論文集 3: 2-11.

参考文献

- 山村高淑 2008. アニメ聖地の成立とその展開に関する研究～アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県鷲宮町の旅客誘致に関する－考察～. 国際広報メディア・観光ジャーナル 7: 145-164.
- 淀野順子 2007. 内発的発展としての地域産業振興における地域住民セクターの意義と役割－徳島県木頭村のダム反対活動と「ヘルシックス」に着目して－. 北海道大学大学院教育学研究科紀要 100: 77-97.

参考文献

国土交通省・経済産業省・文化庁 2005.「映像等コンテンツの制作・活用による地域振興のあり方に関する調査」

文化庁 2003.「これからの日本映画の振興について日本映画の再生のために（提言）」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/eiga/eigashinko/korekara_nihoneiga_shinko.html

最終閲覧日 2022年2月1日

経済産業省 2013.「コンテンツ産業の現状と今後の発展の方向性」

高山『氷菓』応援委員会ブログ

<https://hyouka.hida-ch.com/>

最終閲覧日1月5日

神山高校文化祭実行委員会ブログ

<https://kanyasai.hida-ch.com/>

最終閲覧日1月5日



ご静聴
ありがとう
ございました